

# 耐震補強工事の写真の撮り方

① 工事前の状況  
・ 施工場所がわかるように



② 基礎工事（ある場合）  
・ 配筋状況の確認  
・ 他の基礎へのアンカーやアンカーボルトの設置  
・ 打設後の出来形の確認



③ 筋交・金物設置  
・ 筋交金物が適切に設置されていることの確認  
・ 接合部仕様にあった金物が設置されていることの確認  
・ 施工場所がわかるように写真に番号等を入れる  
・ アンカーボルトがあることの確認



☆ 共通事項 使用金物・釘・構造用合板一覧（例）

筋交金物 1



筋交金物 2



柱脚金物



JASマークの確認



釘種類の確認 1



釘種類の確認 2



⑤ 完成  
・ 工事前の状況写真と同じ方向から撮影する。



④ 構造用合板設置  
・ 周囲・中央部の釘ピッチがわかるように  
・ 3×6板を使った場合はジョイント部の下地と釘ピッチがわかるように  
・ JASマークが写るように



- 【よくある指摘事項】
- 1 接合部仕様Ⅰなのに設置した金物がⅡ仕様 → 再施工または接合部仕様Ⅱとして再計算
  - 2 構造用合板のジョイント部の補強が不明 → 下地の状態で一回撮影する
  - 3 耐力壁両端部にアンカーボルトが無い → アンカー設置又は接合部仕様を下げた再計算

- 5 筋交プレートの不適切な取り付け → 再施工または筋交仕様を金物無しとして再計算
- 6 当初計画と変更となった → 再計算をし、金額が変更となれば再度見積もりを提出
- 7 柱脚柱頭金物をつけ方が筋交の → 隠れる前に柱脚・柱頭の金物を撮影する